

町・警察・県電気工事工業組合が連携し、  
防犯のまちづくりを推進  
**防犯のまちづくりに関する協定**



(写真左から) 加藤 宗一副理事長、小峰町長、峯 逸男署長

町と西入間警察署、埼玉県電気工事工業組合は2月27日、町役場で「防犯のまちづくりに関する協定」の調印式を行いました。

年々巧妙化し、増え続ける犯罪を抑止するうえで、警察や行政だけでは、その対応が難しくなっ



てきています。この協定は、子どもや女性、高齢者等を犯罪被害から守るとともに、多発している街頭犯罪や空き巣などの犯罪を防止するため、3者が連携して、防犯のまちづくりを効果的に推進していくことを定めています。今後、県電気工事工業組合には、犯罪や不審者情報の警察への通報などの防犯活動にご協力をいただきます。

鳩山町Aが6位入賞  
**第29回比企郡駅伝**



賞状を手にする選手の皆さん

3月3日、小川町役場をスタート・ゴールとして、ときがわ町、嵐山町の7区間29.8<sup>キロ</sup>を、比企郡内23チームが1本のタスキをつなぐ第29回比企郡駅伝競走大会が開催されました。鳩山町からA、Bの2チームが出場。Aチームは3区で戸嶋 純さんが、7区で松本 拓也さんが区間賞で快走するなど、総合6位に入る大健闘を見せました。

今宿区、大豆戸区、大橋区で  
**自主防災訓練を実施**

2月24日、今宿区が八坂神社で、大豆戸区が大豆戸公会堂で、また3月17日に大橋区が大橋集会場で、防災体制の強化と防災意識の高揚を目的に自主防災訓練を行いました。訓練には西入間広域消防組合や鳩山消防団が協力。今宿区は50人、大豆戸区は24人、大橋区は101人が参加し、情報伝達・避難訓練や消火器を使った初期消火訓練、三角巾を使った応急措置など熱心に取り組みました。

▼消防職員から止血方法を教わる参加者（今宿区）



## ストレスをコントロールしよう セラピーウォーク IN石坂の森



測定の様子（ウォーキング前）



石坂の森を歩く参加者

3月16日、多世代活動交流センターをスタートし、鳩山ニュータウン北側に位置する石坂の森を歩く「セラピーウォーク IN石坂の森」（町保健センター主催）が開催され、参加者23人が爽やかな汗をかきながらウォーキングを楽しみました。

今回は、大東文化大学スポーツ・健康科学部の協力のもと、ウォーキングと森林浴の効果を科学的な見地から体験していただくことを目的に実施。参加された皆さんは、交感神経が活発になるとより分泌する唾液中の<sup>アルファ</sup> $\alpha$ -アミラーゼの測定や、質問紙を用いて「緊張」「抑うつ」「怒り」「活気」「疲労」「混乱」の6つの尺度から気分や感情を測定するPOMS測定を行い、石坂の森を歩く前後のストレス度を測りました。

参加者の皆さんは「あの植物の名前はなんていうのかしら」「あと1か月もすると、新緑がきれいになるのよね」など、参加者同士で風景や会話を楽しみながら早春の石坂の森を約1時間歩き、森林浴とウォーキングによる心地良さを実感した様子でした。

このほか、今回の催しでは、正しい歩き方や呼吸法の説明、測定結果の見方と解説、同大学の臨床心理士の種ヶ嶋尚志特任講師によるミニ講演「『こころの元気』に役立つヒント」なども行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

## 113人が思い出を胸に 鳩山中学校で卒業式



卒業証書を受け取る生徒

鳩山中学校で3月15日、卒業式が行われ、113人が期待と不安を胸に、学び舎を巣立ちました。式では、卒業生を代表して、平井 萌さんが伴奏する中、三嶋木 春果さんが三年間の思い出を振り返り、保護者と恩師への感謝の気持ちや在校生へのエールを込めた別れのことばを述べました。

## みんなでいっしょにワッハハ 笑いヨガ体験講座



掛け声をかけながら歩く参加者（右から2番目は講師）

町保健センターでは、笑いヨガの呼吸法を取り入れた「笑うって気持ちいい!! 笑いヨガ体験講座」を3月1日、日本笑いヨガ協会認定講師 成嶋 規子さんをお招きして開催しました。講座には32人が参加。参加者は「ホッ、ホッ、ハッハッハー」の掛け声と手拍子に合わせて深呼吸したり、飛行機やイソギンチャクのまねをしながら大きな声で笑ったりと、心身ともにリフレッシュしていました。